



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月2日

上場会社名 北日本紡績株式会社 上場取引所 大
コード番号 3409 URL <http://www.ktbo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 直山 秀人
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 大杉 幸正 (TEL) 076 (277) 7530
四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	125	△4.1	△9	—	△9	—	△8	—
24年3月期第1四半期	130	19.8	△0	—	△1	—	△0	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △47百万円(%) 24年3月期第1四半期 △11百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△0 68	—
24年3月期第1四半期	△0 08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	2,018	1,065	52.7
24年3月期	2,074	1,113	53.7

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 1,065百万円 24年3月期 1,113百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0 00	—	0 00	0 00
24年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0 00	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	270	△3.5	△3	—	△7	—	△6	—	△0.49
通期	550	5.0	10	—	0	—	2	—	0.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期1Q	12,911,000株	24年3月期	12,911,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	556,793株	24年3月期	554,708株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期1Q	12,354,207株	24年3月期1Q	12,356,292株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種の政策効果などを背景に緩やかに持ち直しているものの、欧州の債務危機の影響や電力供給制約が懸念されております。国内景気は、復興需要に加え個人消費が底堅く生産及び設備投資も上向いているものの、先行きにつきましては、中国・新興国の景気減速など海外景気の下振れリスクによる影響も懸念されております。

繊維景況は、衣類関係では百貨店の衣料販売が前年比増加となっておりますが、震災による大幅減の反動要因が大きく、回復傾向とは言い難い状況です。高密度織物使いのダウンジャケットなどは生産過多と長引く円高により輸出採算の大幅悪化に加え、海外品の台頭で受注は急減しております。資材関係では、エコカー補助金が復活する中、自動車の増産を背景に堅調な展開となっております。

当社の産業資材分野では、主力商品であるアラミド繊維(高機能難燃繊維)・高強度繊維ともに自動車関連資材向けは比較的堅調に推移しましたが、産業用資材向けの落ち込みが大きく、アラミド繊維全体の売上高は、前連結会計年度に比べ、10,021千円減少し54,319千円となりました。

一般衣料紡績系ではユニフォーム用、インテリア用が在庫調整等のため、受注は減少しました。その一方で、原着紡績設備は順調に稼働したため、売上高は前連結会計年度に比べ、4,668千円増加し70,875千円となりました。

このような状況の中、当社グループ(当社及び連結子会社)の業績は、アラミド繊維の受注減少が響き、売上高は125,194千円と前連結会計年度に比べ、5,353千円(前連結会計年度比4.1%減)となりました。営業損失は9,154千円(前年同四半期は599千円の営業損失)、経常損失は9,023千円(前年同四半期は1,665千円の経常損失)となりました。四半期純損失は8,401千円(前年同四半期は983千円の四半期純損失)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ56,346千円(2.7%)減少し、2,018,478千円になりました。この減少の主な要因は、売掛金及び受取手形が4,405千円、仕掛品が4,693千円それぞれ増加した一方で、現金及び預金が23,337千円、減価償却費の計上等により有形固定資産が6,692千円、保有株式の時価が下落したことにより投資有価証券が39,272千円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ8,655千円(0.9%)減少し、952,959千円になりました。この減少の主な要因は、支払手形及び買掛金が11,338千円増加した一方で短期借入金が9,615千円、約定返済により長期借入金が4,020千円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ47,690千円(4.3%)減少し、1,065,519千円になりました。この減少の主な要因は、保有株式の時価が下落したことによりその他有価証券評価差額金が39,272千円、四半期純損失を計上したことにより利益剰余金が8,401千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当該事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当該事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当該事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

当社グループは、継続的に営業損失を計上し、当第1四半期連結累計期間においても9,154千円の営業損失を計上しております。こうした状況から当社グループには、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、高付加価値系へのシフト化に取り組むとともに、高機能繊維の開発に注力し、業績回復に努めております。しかしながら、これらの対策は実施途上であり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31 日)	当第 1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	108,552	85,215
受取手形及び売掛金	49,377	53,782
製品	5,013	3,429
仕掛品	6,691	11,384
原材料及び貯蔵品	5,362	6,131
その他	1,019	6,131
流動資産合計	176,017	166,073
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	629,125	626,822
機械装置及び運搬具（純額）	101,448	96,806
土地	858,464	858,464
リース資産（純額）	859	767
その他（純額）	1,345	1,690
有形固定資産合計	1,591,243	1,584,551
無形固定資産		
リース資産	960	857
ソフトウェア	738	640
施設利用権	807	807
無形固定資産合計	2,507	2,306
投資その他の資産		
投資有価証券	293,578	254,306
その他	11,479	11,240
投資その他の資産合計	305,057	265,546
固定資産合計	1,898,808	1,852,404
資産合計	2,074,825	2,018,478

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第1 四半期連結会計期間 (平成24年 6 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,473	31,811
短期借入金	571,916	562,301
リース債務	819	819
未払法人税等	1,299	493
賞与引当金	3,648	1,998
その他	40,317	37,190
流動負債合計	638,474	634,614
固定負債		
長期借入金	11,660	7,640
リース債務	1,092	887
繰延税金負債	43,339	42,590
再評価に係る繰延税金負債	251,294	251,294
退職給付引当金	5,315	5,491
役員退職慰労引当金	10,439	10,439
固定負債合計	323,140	318,344
負債合計	961,614	952,959
純資産の部		
株主資本		
資本金	714,000	714,000
資本剰余金	1,257	1,257
利益剰余金	15,002	6,600
自己株式	△57,336	△57,352
株主資本合計	672,923	664,505
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,537	△46,809
土地再評価差額金	447,824	447,824
その他の包括利益累計額合計	440,286	401,014
純資産合計	1,113,210	1,065,519
負債純資産合計	2,074,825	2,018,478

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	130,548	125,194
売上原価	102,181	105,493
売上総利益	28,366	19,701
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	2,977	2,595
役員報酬	3,306	4,028
給料及び手当	9,759	9,245
その他	12,922	12,985
販売費及び一般管理費合計	28,966	28,855
営業損失(△)	△599	△9,154
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	2,667	3,552
不動産賃貸料	620	638
助成金収入	127	—
その他	858	1,072
営業外収益合計	4,277	5,266
営業外費用		
支払利息	4,633	4,317
その他	709	818
営業外費用合計	5,343	5,135
経常損失(△)	△1,665	△9,023
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,665	△9,023
法人税、住民税及び事業税	127	127
法人税等調整額	△809	△748
法人税等合計	△682	△621
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△983	△8,401
四半期純損失(△)	△983	△8,401

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△983	△8,401
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,553	△39,272
その他の包括利益合計	△10,553	△39,272
四半期包括利益	△11,536	△47,674
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△11,536	△47,674
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当社グループは、継続的に営業損失を計上し、当第1四半期連結累計期間においても9,154千円の営業損失を計上しております。こうした状況から当社グループには、継続企業の前提に関する重要な疑義が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消すべく、高付加価値系へのシフト化に取り組むとともに、高機能繊維の開発に注力し、業績回復に努めております。しかしながら、これらの対策は実施途上であり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、上記のような重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表に反映しておりません。

(4) セグメント情報等

当社及び連結子会社の事業は、紡績系の生産・販売及びこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。